2021年度トマトジュース及びピューレの原材料に関する公開質問回答結果

会社名	質問1	質問2	質問3	質問4	質問5	質問6
	「トマトジュース」にゲノム編集作物を使用する予定について	「トマトピューレ」にゲノム編集作物を使用する予定について	ゲノム編集作物・食品に対する消費者のイメージをどう捉えているか	ゲノム編集食品に届け出や表示義務がないことをどう考えているか	「ゲノム編集でない」表示をどう考えているか	食品事業者として、ゲノム編集作物・食品は必要と考えるか
カゴメ株式会社	予定ない （理由）ゲノム編集作物を使用する必要がないため。また、使用にあたっては、お客様の安心・安全が重要と考えており、科学的に安全性が担保されていても、消費者の反応を慎重に確認する必要があると考えております。	予定ない （理由）ゲノム編集作物を使用する必要がないため。また、使用にあたっては、お客様の安心・安全が重要と考えており、科学的に安全性が担保されていても、消費者の反応を慎重に確認する必要があると考えております。	現時点、ゲノム編集作物の利用予定も、同食品の商品化の予定もありませんので、お答えしかねます。	現時点、ゲノム編集作物の利用予定も、同食品の商品化の予定もありませんので、お答えしかねます。	現時点、ゲノム編集作物の利用予定も、同食品の商品化の予定もありませんので、お答えしかねます。	現時点、ゲノム編集作物の利用予定も、同食品の商品化の予定もありませんので、お答えしかねます。
株式会社 伊藤園	現時点では使用の予定はありません。 （理由）切り替えを予定していないため	現時点では使用の予定はありません。 （理由）切り替えを予定していないため	現時点で使用予定がないため、回答いたしかねます。	現時点で使用予定がないため、回答いたしかねます。	現時点で使用予定がないため、回答いたしかねます。	現時点で使用予定がないため、回答いたしかねます。
アサヒ飲料株式会社	現時点で原料変更の予定はありません。	現在、原料として使用している商品は無く、使用新商品の予定もありません。	使用予定がないため回答できかねます。	使用予定がないため回答できかねます。	使用予定がないため回答できかねます。	使用予定がないため回答できかねます。
日本デルモンテ株式会社	予定はありません。	予定はありません。	ゲノム編集作物・食品という新しい課題に対して、消費者が持つイメージについて、現状ではかはりかねます。	ゲノム編集作物・食品という新しい課題に対して、現状では方針等定まっておりません。	ゲノム編集作物・食品という新しい課題に対して、現状では方針等定まっておりません。	ゲノム編集作物・食品という新しい課題に対して、現状では方針等定まっておりません。
株式会社セブン＆アイ・ホールディングス	予定ない	予定ない	無回答	無回答	無回答	無回答
イオン株式会社	－	－	－	－	－	－
サントリー食品インターナショナル株式会社	現時点では使用する予定はありません。	現時点では使用する予定はありません。	分かりかねます。	お答えいたしかねます。	お答えいたしかねます。	お答えいたしかねます。

2021年度トマトジュース及びピューレの原材料に関する公開質問回答結果

会社名	質問1	質問2	質問3	質問4	質問5	質問6
	「トマトジュース」にゲノム編集作物を使用する予定について	「トマトピューレ」にゲノム編集作物を使用する予定について	ゲノム編集作物・食品に対する消費者のイメージをどう捉えているか	ゲノム編集食品に届け出や表示義務がないことをどう考えているか	「ゲノム編集でない」表示をどう考えているか	食品事業者として、ゲノム編集作物・食品は必要と考えるか
光食品株式会社	予定ない （理由）弊社では基本的に「有機」原料を使用するため。（「有機」では、ゲノム編集作物は不可と決定しているため。）	予定ない （理由）弊社では基本的に「有機」原料を使用するため。（「有機」では、ゲノム編集作物は不可と決定しているため。）	良くない	届出、表示義務が必要であると考える。ゲノム編集が突然変異と同じ原理で、検査をしてもゲノム編集をしたものかどうかが分からないということで、表示義務がないのは、消費者に情報公開がなされていない。また、ゲノム編集食品であるかどうかの検査をする方法の開発を急ぐことも必要。	「ゲノム編集でない」との表示はあった方がよいと考える。尚、ゲノム編集であるものに表示義務がなければ、加工食品などは、各原料に対してゲノム編集でないことの担保を取ることがかなり大変になるため、ゲノム編集食品への表示義務が必要と考える。	弊社は「有機」や「国産」の原料にこだわり、添加物や化学調味料などを使用せずに、素材本来の味を生かした安心・安全な食品づくりを行っていることから、弊社としては人工的に遺伝子に手を加えているゲノム編集食品は必要ないと考える。
サナテックシード株式会社	弊社は元々ゲノム編集作物の開発を目的とした企業であり、いただいた質問のフォーマットには当てはまらない箇所もございましたので、表示についての質問として、弊社の考えをまとめて回答いたします。					
	弊社のゲノム編集技術により作出したGABA高蓄積トマトについては、国の制度に従い、約1年の事前相談を経て、遺伝子組換え生物には当たらず、また生物多様性影響や食品安全性における懸念は想定されないことが確認されたとして、昨年12月11日、農林水産省へ情報提供書、厚生労働省へ届出を提出いたしました。 食品表示基準上は組換えDNA技術を利用していないものは遺伝子組換え食品に該当しませんので、ゲノム編集技術応用食品は食品基準に基づく遺伝子組換え表示制度の対象外となります。 しかしながら弊社は、シシリアンルージュハイギャバを用いた製品を販売する際には、情報提供として、ゲノム編集技術を利用して品種改良されたものであることを明記した、*右記のような表示を行います。このロゴには世界中の人々が野菜で「健康になってほしい」という願いが込められています。 また弊社は種子の生産販売からトマト生産そのものにも関与してトレーサビリティを確保するとともに、この加工トマトの品質を担保するために生産農家はすべて契約栽培にする計画です。 シシリアンルージュハイギャバ関連の商品の登場を待たれている消費者の皆様の期待にお応えできるように、今後もゲノム編集技術や弊社の商品についての情報発信に務めて参ります。 ＊右記の表示・ロゴについてはサナテックシード社ご回答書原本をご覧ください。					